

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
○子どもにとって、わくわくしながら登校し、満足して下校できる学校。		学力の定着とさらなる向上のための授業づくり	授業研究の充実と交換授業や一部教科担任制の効果的な実施
○毎日健康で明るく元気に登校し、健康を意識し身体を動かすことを好み、自ら学習し、将来の夢や希望をもてる、たくましい草ヶ江っ子。		あいさつ、掃除の質の向上とその取組を通してのリーダーの育成	率先垂範の励行 児童会(計画員会)指導の充実
○チーム草ヶ江を合い言葉に共に高め合い、使命感と責任感を持って職務を遂行する職員。		不登校児童ゼロの取り組み	早期発見と早期対応 学校アンケートや教育相談の充実 保護者や関係機関との密な連携
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
確かな学力の向上	草ヶ江っ子学びの決まりの達成率で肯定的回答が90%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「集団の決まりが守られている」「規則正しい生活がなされている」の肯定的回答は71.4%であった。</li> <li>・めあてとまとめについては、肯定的回答がそれぞれ98.4%、と93.6%であった。</li> <li>・6月のA事業での発表に加え、学校全体で外国語活動の授業研究を行った。また、食育や道徳、人権等でも計画的に授業公開を行うことができた。</li> <li>・補充発展の時間は計画どおりに活用をすることができた。学び舎事業については、学習支援リーダーを中心に意欲的に活動していただき、集中して学習する場の設定や、基礎学力の向上につながった。</li> </ul>	
	毎時間のめあて、まとめを各授業で明確に示す。		
	かかわり合いや学び合いを工夫した授業研究を年に1回以上全職員が行う。		
	学力調査の結果分析を行い、補充発展の時間やふれあい学び舎事業等を活用して基礎学力の定着を図る。		
豊かな心と健やかな育成	保護者アンケートで「場に応じた気持ちの良いあいさつができた」で肯定的回答が90%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「場に応じた気持ちの良い挨拶ができる」で肯定的回答は92.4%であった。ただし、地域でのあいさつが十分でないという指摘もあるので、今後改善していきたい。</li> <li>・児童会を中心に月1回の割合であいさつ名人の取り組みを行うことができた。</li> <li>・「一人一人の良さを生かした学級づくりに心がけている」の肯定的回答は、98.4%であった。</li> <li>・「体育の授業は楽しいですか」について肯定的回答をしている児童は92.5%であった。体育が苦手な児童も楽しさを感じられる授業実践に継続して取り組んでいきたい。</li> </ul>	
	児童会と連携し、あいさつ名人の取り組みを月1回の割合で行う。		
	職員アンケートで一人一人の良さを生かした学級作りに心がけているの肯定的回答が90%以上を目指す。		
	「体育の授業が楽しいに」に対する肯定的回答が95%以上を目指す。		
不登校児童への支援といじめの未然防止の充実	草ヶ江っ子アンケートを毎学期実施し、「学校が楽しい」で肯定的回答が95%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校が楽しい」の肯定的回答は96%であった。</li> <li>・月1回の割合で生徒指導部会や特別支援教育部会を開催している。学校や家庭での児童の様子について情報を共有し、具体的な対応を行う事ができている。</li> <li>・不登校児童数は1月31日現在で10名であるが、学年や担任を中心とした取り組みにより、6名の児童は改善傾向にある。</li> </ul>	
	生徒指導委員会や特別教育支援委員会の中で現状の報告と改善に向けた協議を定期的に行う。		
	不登校児童数を前年度の5名から3名に減らす。		
	0		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄棒名人縄跳び名人の認定証が廊下にけいじしてあるが、本人にも周りの子どもたちにもわかるように認め、褒めてあげることは子どものやる気に繋がるいい取組。</li> <li>・授業を参観して、先生たちは苦勞も多いただろうが、子どもに考えさせながら授業を進めていると感じた。</li> <li>・先生と児童との関係がとても良いと感じた。</li> <li>・どの学年も児童の様子から、1年間の成長が大きいと感じた。</li> <li>・あいさつや言葉遣いなどについては、学校だけでなく保護者も巻き込んでいくことが大切である。学校サポーターとしても地域やPTAと一緒に啓発等を根気強く頑張りたい。</li> </ul>			